

を今後どのように整備し活用していくべきか、考古学で対象とする関心事を越えて、仏跡に関心をもつ日本の仏教徒の対応が、いまほど問われている。

るときはないであろう、との感懐をいただいたのである。

◎10月23日

共同研究（B）中間報告

地方都市の構造と変動

斎藤昌男
（社会学科教授）
前田征三
（社会学科教授）
内山幸久
（地理学科教授）
松井秀郎
（地理学科専任講師）

東アジアにおける異文化交流の研究

吉田寅
（史学科教授）
木崎良平
（史学科教授）

要旨は86頁～87頁参照

平成3年度特別講演要旨

平成4年
1月29日

銀座、そして銀座化現象

服部 銈二郎
（地理学科教授）

偉大で、シンボリックな地域現象は、どこことなく他の地域現象に比べ、異常で驚くほどのユニークさを発揮し、巨大な影響や波及効果を、地域活動や都市機能に与えるものである。国際化・高度情報化・ソフト化・高速化が進行する成熟社会において、そのことは真実味をもってわれわれの生活に迫ってくるようである。高次機能の一極集中を、ますます強めつつある世界都市「東京」の現実、本論で述べる異常な街「銀座」の強烈で、迫

力に充ちた展開構図などは、ナンバーワンを獲得した地域現象が、知らず知らずのうちに練りあげられていく、人間社会の宿命的必然なのだろう。このことは、最も人間らしい人口集団「大都市」において、さらにその核心部であるカオス空間「都心盛り場」において、最高に演出されるようである。

“都に登り、天下に号令する”と、戦国武将の生き様願望は、いつの世でも変わることがない。天下事業家が東京で成功し、天下商人が銀座で名をあげ、その勢力圏を拡大する構図は、なんと魅力的なことだろうか。日本列島における場としての東京「銀座」は正に、ビジネス・宣伝広告・信用・ステイタス・満足感などにおいて、生活文化やチャレンジ空間として完全に日本人の都といえるであ

ろう。というだけでなく、世界の経済大国になった日本の“盛り場”銀座は、世界の銀座へとその役割を押し上げつつあるのである

本論では、今日、劣等感をもたない世界の顔、消費文化のシンボル「銀座」について、その生いたちと現実を明らかにし、その意表性を語り、ナンバーワンだからこそ発生する「銀座化現象」の面白さについて論じてみた。

銀座、そして銀座化現象を阻止する前に、50年の都市地理学研究生活の中で得たわが理論を4つほど挙げることにした。第1「都市圏階層化理論」、第2「都市活動圏構造理論」、第3「らしさ・肖り角逐現象」、第4「欲望無限、大地有限妥協性現象」などである。これらの理論、発想を根底において、銀座を深耕した。

銀座は、“一富士、二京、三銀座”に表現できるように、日本列島における「盛り場性」の最高のシンボルである。地価やお店賃貸価格が世界最高ときくなら、銀座は世界の繁華街のシンボルといってもよい。江戸の銀貨鑄造所（銀座）から生まれたこの街は、明治前期には文明開化の街・煉瓦街へ、中・後期には国策商店街へ、大正・昭和戦前期には銀ぶらの都心盛り場へ、戦後は国心的盛り場へ、最近では“都民に遠ざかり、世界の人々に近

づく”のことわざ通り、世界の銀座へと、街の表情をメイクアップしつつある。銀座をとりまく人口動態は驚くほどダイナミックである。昼間業務人口40万人の銀座八丁エリアは、ビジネス・買物・観光・娯楽客でさらに日中400万人に膨れあがるが、深夜の夜間常住人口はたった4,000人にしぼんでしまう。しかも、世界都市「東京」の都心部（CBD）に位置するので、その異常性、意表を突くような現象は驚嘆に値するものがある。若干挙げると、①銀座旦那の超プライド、②日本の商業中心を制圧する老舗群（和光・資生堂・英国屋など）、③世界1の画廊の街（日動画廊など300軒）、④地方マスコミ支局の集中エリア、⑤都市銀行の顔見世街（銀座通りに全行が並ぶ）、⑥わが国最高のショールーム街（日産ギャラリー・ソニープラザ・TOTOなど）等であるが、話題はまだまだある。

銀座の信用・プライド・センス・高級などのイメージは、アルプス銀座、台風銀座、マンション銀座など、現象が盛ることの代名詞になったり、その銀座化現象は“〇〇銀座”の500におよぶ出現に極限に達するようである。銀座化現象は、全国津々浦々に、小説・ドラマ・映画・テレビ・流行歌によって、銀座性を発信し、波及させていったのである。

平成3年度共同研究（A）分担者一覧

知覚学習に関する一研究	井田 政則	マックス・ヴェーバー理論の形成	
19世紀末イギリス帝国の南部アフリカ政策	菅原 篤	—— 政治社会学、法社会学、指導者民主主義を中心に ——	田嶋 和久
横光利一の時代（Ⅲ）	保昌 正夫	湧水枯渇防止のための雨水浸透装置の	
英米詩に歌われた花の研究	鈴木 保昭	適正配置に関する研究	高村 弘毅
		房総における富士塚の類型	野村 幸希